

採択理由

プログラム名：健康研究成果の実用化加速のための研究・開発
システム関連の隘路解消を支援するプログラム
課題名：迷走神経刺激による心不全治療の最適化
提案機関名：九州大学
研究代表者名：砂川 賢二

コメント

本提案は、難治性心不全に対する新たな治療機器として、超低電力無痛性植え込み型除細動システム(超 ICD)の実用化開発を行い、現行の植込み型除細動装置の心不全進行や心室細動の予防に係る課題を克服し、高い電圧による除細動作用に伴う患者の苦痛の軽減を図ることによって、新規治療法の確立を目指す重要な取組である。迷走神経刺激による心不全治療は独創性が高く、潜在市場も大きいと予想され、日本から世界に向けて発信し得る医療機器として期待できる。また、開発加速を目指し、迷走神経刺激の最適化条件の早期策定に向けた研究計画が精細に設定されていることにより、本取組がスーパー特区課題の推進に大きな力になることが見込まれる。課題の実施に際しては、他の資金との切り分けを明確にして課題を推進することが必要であり、また、迷走神経刺激による治療に関する知的財産権確保について留意するとともに、体制を強化して、安全性の確認と薬事面の対応に十分に配慮しつつ、開発を速やかに推進することが求められる。